

雑とさくら



発行／令和5年7月1日

国防は最大の福祉である

会長あいさつ

国防を考える会 会長

高橋 忠義



員（16～32才）制
のため、青少年会
じつ」とかを真剣
に考えてもらいた
いと思います。そ

令和5年6月11日、この日
は私たちにとって忘れられない日になりました。昨年末から2週間に一回準備会を開き、会の名称や会則など地道に準備を積み重ねこの日を迎えた。まずは、準備に携わったメンバーに心から感謝申し上げます。

当日は、中部方面総監をはじめとする自衛官、国會議員など多くの方に参加いただき改めて御礼申し上げます。参会者の皆様や祝詞に込められた激励の言葉に、会長を拝命した重責をひしひしと感じ身の引き締まる思いです。

国防会の設立に際し、私の父である高橋季義の「国防は最大の福祉である」「国防に与野党関係なし」という理念に基づいて会の目的、事業内容を検討して参りました。そして、この理念を多くの国民、とりわけ日本を担っていく若者たちに伝え、自衛隊を知つてもらひ、「国を守る」ということほどう

度を設けており、まずは会員を増やしたいと思います。そして、何よりも重要なのは若者が参画しやすい事業の展開だと考えています。

事業の実施においては委員会制度を取り入れ、会員が会の運営に直接参画できる体制としました。今回の総会においても15人の会員が実行委員としてお手伝いをいただきました。役員だけで会の運営をするのではなく、会員一体となって事業を進めるこによって、役員の負担を軽減するだけでなく会員相互の一体感を醸成し会員から直接意見を伺うこともできます。

高橋会長はそうした主張をする執行役員への任命責任を痛感し、いつたん辞任を表明しましたが、数多くの皆様からの声に押されて辞任撤回を申し出ます。しかしそれは受け入れられることなく、当初の特定政党及び特定宗教排除の内容がありもしない讒言にすり替わり誹謗中傷を受けました。

その後高橋会長以下、内藤・小山・西山・佐伯・山根各氏が次々と除名され、その除名理由の開示もなく、弁明の機会すら与えられないまま今日を迎えました。

このように、今までにない自衛隊支援団体を構築し活動して参りますので、どうぞ皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

本日、志を同じくする方が、多數会場に集い、北は北海道から南は沖縄までの方々もオンラインでご参加いただけましたことは大変頼もしく感謝に堪えません。

思い起こせば、昨年の7月に某団体役員から、特定の政党や宗教を排除すべきという声が上がりました。



指す自衛隊への支援、国防に対する熱い想いを必ずや具現化できると確信いたしました。

さて、我が国を取り巻く諸情勢により、世界の安全保障環境は一変し、我が国周辺においても北朝鮮による度重なるミサイル発射や核兵器保有、中国が画策する台湾への武力侵攻など、日本を取り巻く諸情勢はまさに緊迫しています。私たち

「国防を考える会」はこのような情勢下に産声を上げました。それぞれの愛する人や家族の集合体が、この日本という国家です。どうぞ皆様、ご自身の脳裏に愛する家族、子や孫の笑顔を、友の笑顔を思い浮かべてください。その愛する者たちを守るという気迫に満ちた想いで、我が国を守つていこうではありませんか。

同じように祖国を守つてきてくださった先人への顕彰を忘れず、現在24時間365日、この国を守るために従事してくださっている自衛隊の皆様に心から感謝をいたし、高橋会長の御尊父、高橋季義氏が遺した言葉、「国防は最大の福祉である」、その想いを更に多くの国民に拡げていくことに努力する。

その決意をもって、ここに、私は「国防を考える会」の設立を高橋忠義をリーダーとして、ともに活動することにより、私たちが目

に活動することにより、私たちが目

設立に際して、関係者の方々並々ならぬご尽力があつたものと、心より敬意を表します。

また、設立総会において、自衛隊が直面する課題である「隊員募集」の現状をよく理解していただき、募集活動に対する高橋会長以下の思いを拝聴し、非常に心強く感じました。皆様からの我々に対する大きなご期待・ご支援に対し、確実に応えられる自衛隊であらねばならないと一層の使命感を覚えた次第です。

さて、法の支配に基づく自由で開かれた安定的な国際秩序は、ロシアのウクライナ侵略に象徴されるように深刻な事態にさらされています。特に我が国が位置するインド太

この度、国防への関心・知識を高め、自衛隊の活動を支援することを目的に、高橋忠義氏を会長として「国防を考える会」が設立されましたことを、心よりお祝い申し上げます。

総会報告 祝辭 中部方面総監 陸將 堀井 泰蔵



書が策定され、抜本的な防衛力強化の整備が始まつておなり、方面隊としてしっかりと実のある体制整備を推進しております。その一つとして、方面隊内に新たに国民保護専門官が配置され、有事における国民保護について検討し、自治体等が行う国民保護業務を支援して参ります。また、運用面においては、情勢の変化に対応し、あらゆる困難を克服して、与えられた任務を完遂することができる強靭な部隊を育成するため、日々訓練

国内に目を向けると、想定外と言われている自然災害の発生、特に南海トラフ地震の蓋然性が高まりつつあること、が懸念されています。

平洋地域においては、中国による一方的な現状変更の試み、北朝鮮が繰り返し実施している弾道ミサイルの発射、ロシアによる極東地域での軍事活動の継続等、不安定な要素が多く存在します。

数に毎年届いていないのが実状です。皆様とこうした課題を共有し、支援をいただきながら、よりよい募集環境を構築していきたいと思つています。

防の意識を高めようと活動に敬意を表します。自衛隊に対する国民の皆様からの好意度は高く、その活動に大変期待をもっていただいているところではあります。景気の向上、少子化の影響もあり、自衛隊を志す若者が減少し、人材不足の状態に陥つており、計画する必要な採用人

れたことは、我々にとって大変喜ばしいことと歓迎しております。現在の厳しい安全保障環境において、国民の国防の意識・知識を高めようとする会の活動は、大変崇高であり、青少年部を新たに設けるなど、若々の方々へも国

A portrait of Dr. Toshiaki Kondo, an elderly man with grey hair, wearing a dark suit, white shirt, and a red bow tie. A red ribbon is pinned to his left lapel.

10 of 10

原口一郎による基調講演

堀井総監による 祝辞

阪神基地隊司令
吉田1等海佐

A portrait of a middle-aged man with glasses and a mustache, wearing a dark suit, white shirt, and pink tie. He is holding a white rectangular document in his hands. A small blue pin or badge is visible on his left lapel.

A portrait of Tadahiro Matsunaga, a man with glasses and a suit, holding a microphone and a small device.

を重ねてこれまでの歴史の中には、このような中にあって、「国防を考える会」が設立され

結びに、国防を考える会から自衛隊に対し、厚いご支援・ご協力を賜りますようお願い

願い申し上げると共に、今後の発展と皆様のご健勝と多幸をお祈り致します。

設立に向けて約半年をかけて準備を重ねてきた「国防を考える会」は、令和5年6月11日、に開催された設立総会を以て、正式に発足となりました。100名以上の参加



変興味深く参加者の皆さんも大興奮で、会場は賑やかでした。また、議長の高橋忠義氏は、元海上自衛隊員として、多くの歴史的経験を持った方です。

記念講演では、会長の防衛大臣である元統合幕僚長の河野克俊さんに安全保障に関する講話を頂戴いたしました。台

者の皆様に見守られるなかで晴れ晴れと始動することができました。

総会後は記念式典、記念講演、パネルディスカッション、懇親会と続き、陸上自衛隊中基地隊司令を始め、多くの現役自衛官の方々にご参加いただきました。またZoom参加者として航空自衛隊経ヶ岬分屯基地司令、会員の皆様もオンラインにて参加してくださいました。さらに、多くの国会議員（前職を含む）の方々も応援に駆けつけてくださいました。

高橋忠義会長の父・季義氏にゆかりのある「ジユピター」がBGMとして流れれるなか、副会長に就任した上野崎譲一により、設立宣言が（国防会ホームページに動画掲載）

真剣な表情で聴いておられました。

その後、その講演のお話を基に、当会の青少年会員でもある大学生3名が壇上に上がり、講師とのパネルディスカッションをおこないました。3人の若者も少々緊張はしていたものの、物怖じすることなく積極的に発言し、河野元統幕僚長と意見を交わしました。

河野さんも、若者の全ての疑問に分かりやすく丁寧にお答えされ、またパネルディスカッションの司会を務めた会長が水を向け、講演会にご参加の堀井中部方面総監や宇都元外務大臣にも発言を求められた貴重な場面もありました。



河野元統幕僚長と青少年会員によるパネルディスカッション

青少年会員による万歳三唱



記念式典の様子は
HP・FaceBookにて
ご覧いただけます。

自衛隊 部隊紹介

海上自衛隊阪神基地隊は、昭和27年8月保安庁警備隊大阪航路啓開隊として発足以来、名称や組織の変更など、様々な変遷を経ながら、大阪湾、紀伊水道等の防衛警備を行い、昨年開隊70周年を迎えました。日頃は、任務達成に必要な訓練のほか、寄港艦艇、航空機の支援、海中で発見された不発弾等の爆発性危険物の処理や災害への対応などに当たっています。また、地域の皆様に海上自衛隊の任務や活動をご理解いただくために、様々なイベントや協力をを行い、地域社会との融和を図っています。略称は、「阪基」です。

広報活動の一環で、昨年（令和4年）からのNNSを始めました。

Instagram・Twitterでは、「阪基」のイベント情報や普段あまり見ていただけない風景、隊員が勤

海上自衛隊 阪神基地隊



掃海艇なおしま特別公開



6月17日、サマーフェスタで呉音楽隊の奏でる「軍艦マーチ」を指揮する吉田司令官

Twitter約4300人です。
目標はじからも一万人。阪神



海上自衛隊の部隊として海の守りを担っていることをよだかたいと考えています。また、職業選択肢の一つとして、自衛隊に興味を持たれた10代20代の若者に、さらに関心を持つ

Twitter約4300人です。
目標はじからも一万人。阪神地区では「阪基」が唯一の海上自衛隊の部隊として海の守りを担っていることをよだかたいと考えています。また、職業選択肢の一つとして、自衛隊に興味を持たれた10代20代の若者に、さらに関心を持つ

Twitter約4300人です。
目標はじからも一万人。阪神

（休みがない）、海上では電波が届かない、夜間もワッчи（当直勤務）がある、金曜日にはカレーを食べなきゃならない？と厳しいイメージで語られがちな海上自衛隊ですが、様々な改善策を講じつつ、任務に精励しています。「阪基」からは、皆様に海上自衛隊をもっとと知つていただけるよう、より多くの情報をより分かり易く発信して参ります。



是非、「海上自衛隊」アカウントのフォローをお願いします！

白衛隊員 からの手紙

海上自衛隊
潜水艦乗員 海士長
田邊 琢真



私は今既にして潜水艦乗員として勤務しております。高校までは、中長距離の陸上選手として高い成績を残してきました。親の勧めもあり一般大學生に入学しました。同好会のような陸上部に嫌気がさしていた時、故障をし、それがきっかけで大学を中退しました。その後、梅田で地元の広報官に隊員募集のチラシをもらいました。高校生の頃から、陸自のヘリコプターパイロットになりたかったのですが、制度的に難しいことがわかり、広報官が海上は給料が良いと教えてくれ、海自を志望しました。ただ泳げないことが最大の不安でしたが「絶対泳げるようになる」と激励をいただきました。一般曹候補生で合格した私は舞鶴教育隊に入隊しました。団体行動に苦労をしましたが、年齢も様々な同期と力を合わせ教育課程を修了しました。潜水艦の適正検査に合格し、職種は希望通りとするから、ぜひ潜水艦に進んでほしいと勧められ、潜水艦要員の通信を選択しました。理由は教育隊の尊敬する班長が通信だったからです。約8ヶ月の潜水艦教育訓練隊、潜水艦での実訓練のうち晴れて艦長から潜水艦乗員の証しドルフィンマークを授与されたときは嬉しいより安堵の気持ちが大きかったです。陸上選手で個人競技をしていた私は、自衛隊に入隊してから団体行動の素晴らしさを知りました。潜訓の教官が「艦は艦長だけで動くわけではない。どんなに嫌いな人でも必要なんだ。自分の長所でも必要なんだ。自分の長所で相手を助けて、相手の長所でまた自分が助けられる。」と話されました。能力の低い人もその人なりのピカ一がある。これからも私はその訓示を忘れず任務に邁進してまいります。

第96回 黒田裕樹の歴史講座

通算で第96回、国防を考える会での主催では初めてとなる「黒田裕樹の歴史講座」が、5月28日(日)の14時から貸会議室プランセカンスにて、オンラインを含めて24名の参加者をお迎えして、盛況のうちに行されました。

としてのプラントは、国家



大海人皇子(天武天皇)が決断したからこそ、一種のクーデターともいえる壬申の乱が成功したとも考えられるのです。

現在、韓国(大韓民国)では保守派の大統領が存在しております、我が国との関係を改善しようとしています。が、我が国側としても、大統領が代わったことを受け



第1回 日本における左翼勢力の誕生

戦後多くの国民に浸透してしまった自虐史観や、自衛隊に対する誹謗中傷、憲法改正への抵抗等々は、我が国の左派勢力によるものが大きな要因です。



今回の演題は「日本古代史その4～律令国家の完成～」であり、大化の革新や壬申の乱といつた7世紀半ばから後半にかけての政治史を中心に、休憩をはさみながら2時間半以上も熱弁をふるいました。

参加者は関東からお越しの方を含めて多岐にわたりつており、事前に国防を考える会にご入会された方や、講演の合間に入会手続きをされた皆様もおられました。

白村江の戦いで中国の唐と一緒に戦って勝者となるも、その後に半島を統一して唐と敵対関係になると、我が国に対しても当たる新羅に対し、当時の我が國が「唐に対する防波堤」として受け入れたことで、

それでは皆様、次回の講演でお目にかかりましょう！

そうした左派の歴史や背景を知ることにより、その欺瞞性を明らかにして、それを広く無党派層に知らしめることができます。今日は、我が国の労働運動は右派から始まつたとして、明治から大正期までの左派勢力の誕生に焦点を当てます。

今回の講演で最も重要な会場は、国家としてのプラントは、国家

イドをかなぐり捨ててまで存続を選び、結果として朝鮮半島の統一を成しとげた新羅と我が国との複雑な関係を詳しく掘り下げたことでした。

大海人皇子(天武天皇)が決断したからこそ、一種のクーデターともいえる壬申の乱が成功したとも考えられるのです。

現在、韓国(大韓民国)では保守派の大統領が存在しております、我が国との関係を改善しようとしています。が、我が国側としても、大統領が代わったことを受け

て色々と反応を改めるという外交姿勢を見せることが、単なる日韓関係のみならず、我が国に対しても当たる新羅に対し、当時の我が國が「唐に対する防波堤」として受け入れたことで、中国大陸からの侵略を受けずに済みました。

しかし、その新羅によって滅亡に追い込まれた、我が国と関係の深い百濟が存在しながら、一切のしがらみを捨てて新羅と「大人の関係」を結ぶのは並大抵ではありません。

第97回 黒田裕樹の歴史講座 「日本古代史その5～平城京と天平文化～」

日 時：令和5年7月22日(土)午後14時より(今回は土曜開催となります。ご注意ください！)

会 場：貸会議室プランセカンス
大阪市淀川区西中島4丁目2-26
天神第一ビル6階

Osaka Metro御堂筋線西中島南方駅および阪急京都線南方駅下車すぐ

資料代：2,000円(高校生以下は無料、その他学生割引あり)

※国防を考える会会員は1,000円、国防会青少年会員は無料

主 催：国防を考える会・正しい歴史を伝える会
後 援：授業づくりJAPAN・新聞アイデンティティ
ー詳細はチラシをご覧ください。

日 時：8月6日(日) 14時～17時
参加費：2,000円(税込)

国防を考える会会員は1,000円・青少年会員は無料

会 場：新大阪K-suquare
大阪市淀川区西中島4-7-20
日宝新大阪第一ビル

講 師：国防を考える会
副会長 上野崎譲二

申込み：国防を考える会
06-4256-4868まで
ー詳細はチラシをご覧ください。

行事参加レポート 4月→6月

陸自久居駐屯地 開設71周年記念行事



令和5年4月9日、高橋会長以下3名で出席。久居駐屯地はかつては帝国陸軍の「歩兵33聯隊」が駐屯し、現在主

力部隊として第33普通科連隊等が置かれ、全国でも珍しく帝国陸軍と同じ部隊番号を持つ部隊が所属する駐屯地です。基地開放により多数の近隣住民の方々の来隊と楽し気な子供たちの声が響き、長年住民に愛されてきた部隊と実感しました。

中部方面総監部 つつじを観る会

令和5年4月22日、伊丹市にある総監部で開催された中部方面総監部が主催する「令和5年度つつじを観る会」に高橋会長以下2名が参加いたしました。

つつじを観る会は、中部方面総監部の庭先一面を彩るつじを愛でながら、日頃協力関係を築く関係諸団体や個人とのさらなる懇親を図ることを目的とされています。

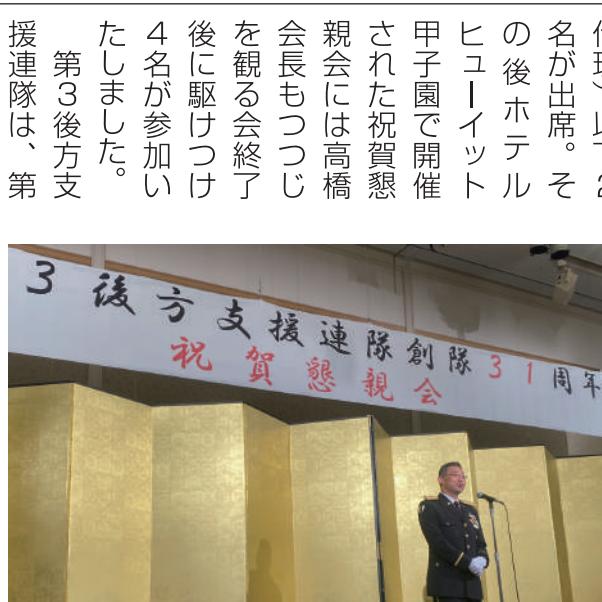
高橋会長は中部方面総監部これまでに高い信頼性を醸成しており、今後も真に自衛隊を応援し支える団体として、中部方面総監部をはじめ自衛隊各部隊、機関等とさら

なる協力関係を構築してまいります。



つつじを観る会 堀井総監と高橋会長

陸自第3後方支援連隊 創隊31周年祝賀懇親会



後支連創立記念行事 上原連隊長の挨拶

援連隊は、第3後方支援連隊は、高橋会長と小山統括委員長が参列

して、これまでに高い信頼性を醸成しており、今後も真に自衛隊を応援し支える団体として、中部方面総監部をはじめ自衛隊各部隊、機関等とさら

に執り行われています。今年は高橋会長と小山統括委員長が参列

する「昭和殉難者法務死追悼・年次法要」が、来年は会員皆さんとともに

お参りしたいと存じます。

第73回関西白鷗遺族会 慰靈祭

が、来年は会員皆さんとともに



昭和殉難者法務死追悼・年次法要

本慰靈祭は、大東亜戦争において海軍の特攻部隊で国難に殉じられた英靈の慰靈を目的に昭和21年から開催されており、コロナ禍の影響から3年ぶりに一般参加者を招いての開催となりました。



陸自千僧駐屯地 創立72周年記念行事

令和5年5月21日、兵庫県の陸上自衛隊千僧駐屯地にて
いなど後世に伝え広めたい」と力強い決意をお聞きしました。

弊会も一翼を担う重責を認識して引き続き白鷗遺族会と共に慰靈顕彰に邁進してまいります。



白鷗遺族会慰靈祭(本殿)

は、兵庫県の第三師団は、大阪府・京都府・奈良県・滋賀県そして和歌山県と共に広範囲を護る近畿の防衛の要です。今年は和太鼓の演奏に合わせた訓練展示など、新しい試みの演出が多数展開され、観覧席からは何度も歓声があがりました。

他、大阪府・京都府・奈良県・滋賀県そして和歌山県と共に広範囲を護る近畿の防衛の要です。今年は和太鼓の演奏に合わせた訓練展示など、新しい試みの演出が多数展開され、観覧席からは何度も歓声があがりました。



令和5年6月3日、高橋会長以下3名で出席。奈良基地は空自の全ての幹部自衛官が入校する全国で唯一の幹部候補生学校を有する基地です。

令和5年6月3日、高橋会長以下3名で出席。奈良基地は空自の全ての幹部自衛官が入校する全国で唯一の幹部候補生学校を有する基地です。

空自奈良基地祭

令和5年6月3日、高橋会長以下2名で出席。現地で会員と合流。和歌山駐屯地は日本で一番小さい陸自駐屯地です。一般開放は令和元年以来実に4年振り。岸本知事ご出席のもと盛大に開催されました。盛り沢山の展示の中でも特筆なのはショベルカーでの練度の高さがうかがえます。

板についてきた候補生の見事な行進

地より出発します。台風一過の青空の元、すっきりとした観閲式訓練展示等、従来にとらわれないが充実した基地祭に感銘を受けました。

陸自和歌山駐屯地 創立61周年記念行事

令和5年6月4日、高橋会長以下2名で出席。現地で会員と合流。和歌山駐屯地は日本で一番小さい陸自駐屯地です。一般開放は令和元年以来実に4年振り。岸本知事ご出席のもと盛大に開催されました。盛り沢山の展示の中でも特筆なのはショベルカーでの練度の高さがうかがえます。



栗田千寿司令の観閲

栗田司令と内藤副会長



水陸両用車の上から餅まき、町の人たちも大喜び

ショベルカーでの習字、お見事！

た。そして「餅まき」には近隣住民の方々もひそかに参加。和歌山県民は「餅まき」が大好きなのです。知事、国會議員、美浜町長がにこやかにお餅をまいておられました。隊員、来賓、来場者が一体となつた素敵な記念行事でした。

行事のご案内

国防会サマーフェスタ 2023

日 時: 8月26日(土) 12時~15時(11時半受付開始)
場 所: アサヒスーパードライ梅田
 大阪市北区西天満4丁目15-10 あいおいニッセイ同和損保フェニックスタワーB1
参加費: 【ボリューム重視の特別メニュー、飲み放題付き】
 大人6,000円、自衛隊員・青少年会員・未成年3,000円、未就学児無料(アレルギーのある方はご自身の食べ物持ち込みOK)
 — 詳細はチラシをご覧ください —

研修旅行

空挺初降下



国防会初の自衛隊研修は「陸自第1空挺団」の空挺初降下を予定しております。

空自の固定翼機C130-H・C2や陸自のCH-47JA(通称チヌーク)などのヘリから「精強無比」と言われる最強部隊である空挺隊員の降下は圧巻です。令和5年の降下は離島奪還を想定した日米豪英の4か国連合軍で実施されました。

日程: 令和6年1月6日(予定) **場所:** 習志野演習場
参加人数: 50名様限定(申込み順)

行程: **第1日目** 各自東京駅(仮)集合のち団体行動(移動:バス)
 夜、宿泊先で空挺隊員等と意見交換会

第2日目 初降下見学→終了後東京駅(仮)にて解散
 詳細は10月号「雉とさくら」3号にて発表

実行委員大募集!!

国防会では各種行事の運営を会員皆様と一緒にしたいと考えております。「興味がある行事にスタッフとして活動したい」そんな会員の皆様、是非実行委員に加わってください。各種実行委員は当該イベント終了後解散します。実行委員募集はメールにて行います。お返事お待ちしております。本紙をご覧になってお電話でのお申し込みも大歓迎です！ ①第1回サマーフェスタ委員会 ②空挺研修旅行委員会(連絡先は本ページ下記迄)

後編 記集

「国家興隆すれば理想を以て生活し
 国家衰退すれば生活を以て理想とす」
 これは、明治から昭和戦後期を生きた近代日本のジャーナリストの草分け的である徳富蘆峰の一説です。

現況の国内外の情勢に一喜一憂する前に、我が国の歴史の深淵に想いをはせ、共に交わり、共に学び合う場たる「国防を考える会」の全国展開に努め、国防を担う自衛隊を応援していくたいと思います。
 (大坪厚彦 記)

入会案内

1. 会員種別について

種 别	会 費
正 会 員	本会の目的に賛同して入会した個人 3,000円/1口
贊助会員	正会員のうち、特に賛助会費をもって本会を支援する個人 10,000円/1口
法人会員	本会の目的に賛同して入会した法人又は団体 20,000円/1口
青少年会員	正会員のうち、16歳以上33歳未満の個人 1,000円/1口

* 1月～3月に御入会いただいた方は当年度を無料とし、入会時にいただいた会費は翌年度会費に充当します。

2. 入会手続きについて

入会手続きは、所定の入会申込方法により入会申し込みをするとともに上記会費をご入金ください。(入金確認を持って入会の意思表示とみなします。)

入金確認後、会則に基づいて入会審査を経て、会員名簿に登録し、会報及び徽章を送付いたします。

3. 会員活動について

本会が主催または共催する各種講座・講演その他の事業に優先的にご参加いただけます。(定員の都合により抽選になる場合もございますので、あらかじめご了承ください)

4. 最後に…

私たちとともに自衛隊の活動を支援し日本の国防について真剣に考えていただける仲間を大募集中です。皆様のご入会を心よりお待ちいたしております。

法人会員御入会の御礼

令和5年6月19日現在、4社の法人会員様にご入会いただきました。(入会順)

・管通和歌山 様 　・大起産業株式会社 様
 ・大阪護国神社 様 　・株式会社香川デザイン 様
 ありがとうございます。

アライアンスパートナー募集!!

志を同じくする多くの自衛隊支援団体が、皆で協力団結することで、より強固な力となり、より強く自衛隊を支援することができると考えております。当会では、「共に自衛隊支援に尽力いただける団体=アライアンスパートナー」を募集しております。